

ソワニエ看護専門学校 広報誌 Vol.15 2015 December

ソワニエ通信

soigner Nursing College

〈編集・発行〉
ソワニエ看護専門学校
〒703-8265
岡山市中区倉田394-3
電話(086)274-6455
ホームページ:
<http://www.soigner-nc.jp>
E-mail:info@soigner-nc.jp
〈発行責任者〉安岡満利子



「戦争法」廃止目指して

学校長 吉崎振起

今年9月、日本国民の過半数以上が反対する憲法違反の「安保法制」が自公政権の強行採決によって成立しました。この法律は憲法9条を否定されている集団的自衛権を行使し、海外で戦争をするための「戦争法」です。

20世紀は戦争の時代と言われています。そして、第2次世界大戦中にドイツナチスによる600万人を殺害したホロコースト、日本の731部隊による人体実験など、医師が加担した戦争犯罪がありました。その反省の上に1948年に開催された世界医師会のジュネーブ宣言では「私（医師）は、いかなる脅迫にあおうと、生命の始まりから人命を最大限に尊重し続ける」と全世界の医師に呼びかけています。また、日本看護協会は2003年に看護者の倫理綱領を制定し、その第1項目に「看護者は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重すること規定しています。医療人の最大の使命は、いつ、いかなる場所でも、どのような事態に在っても人の命、患者の命を守ることです。そして、その対極にあるものが人と人が殺し合う戦争です。

日本は、第2次世界大戦以後70年間、戦争をしていない数少ない国の一つです。それは、日本国憲法9条と原水爆禁止運動や憲法を守る9条の会などの平和を守る広範な国民運動によって実現できたものです。

今回、全国で多くの国民が思想信条を越えて「戦争法」反対の行動に参加しました。その運動は法案成立後も力強く展開されています。

「戦争法」廃止目指して、再出発!!



ソワニエでつかもう / みんなの夢

オープンキャンパス 2015 ふりがえり

オープンキャンパス担当教員 川西久枝

今年も7月18日と8月22日に学生主体のオープンキャンパスが開催されました。1回目は台風の影響もあり参加人数は少なかつたのですが、2回目は県内、県外とも沢山の越下り盛況の中終えることができました。体験学習ではBLS、老人体験、妊婦体験、沐浴、手洗い、血圧測定等多くのブースを設けました。その中でも新卒学生と社会人学生に分かれ、現役学生と自由にトークできるカフェはいつもの事ながら人気で待ちがでるほどでした。生の学生生活を学生自身から聞くことが出来るので、参加者にとってはきつと学生生活がイメージしやすく安心感を持てたのではないかと思います。これからも学生、教職員一同、おもてなしの心を忘れずにソワニエの良い所を精一杯伝えていきたいと思えます。

2016年度 一般入試日程は次のとおりです。

試験区分	願書受付期間	試験日
一般一次入試	2015年 11月16日(月)~11月27日(金)【消印有効】	12月5日(土)
一般二次入試	2015年 12月14日(月)~2016年 1月5日(火)【必着】	1月9日(土)
一般三次入試	2016年 2月8日(月)~ 2月23日(火)【必着】	2月27日(土)

開催日時	場所
12月19日(土)9時~11時	ソワニエ看護専門学校
1月30日(土)9時~11時	ソワニエ看護専門学校

学校見学も随時できますので、お気軽にお申し込みください

〈資料請求・連絡先〉ソワニエ看護専門学校 入試事務室:角南・石原 ☎086-274-6274

編集後記

後期のメインイベントである戴帽式は、本番に強い1年生が「誓いの言葉」をピンッと決め、おもてなしの心で2年生が祝賀会を盛り上げ、3年生の的確なアドバイスで厳粛かつ感動的な式典となりました。全員で協力し合うと素晴らしいものが出来る事を実感し、それぞれが初心に戻る事ができました。今年の秋は例年に比べて暖かい日が続いていますがいよいよ国家試験まであと3か月を切りました。夜遅くまで学校で勉強をし、今日も寒いなあ。とオリオン座を見上げながら帰る毎日が続くと思います。毎日を大切にコツコツと仲間と共に頑張りたいものです。



SNC祭

SNC祭実行委員長 斉藤啓介

今年のSNC祭は10月16日学習発表会、17日学園祭の日程で開催されました。
 蝦名宇摩さんにお越しいただき、原発の講演と三味線演奏をしていただきました。学習発表では、日々の学習を楽しく伝えてクラスの団結が強まりました。3年生による防災をテーマとした発表もあり私たちが取り巻く環境を学びました。2日目の学園祭は地域に開かれた学校をテーマに企画、立案しました。ポスター配布など学生と教職員が協力しました。「地域の方に来てくれるか」「不安がありましたか」、当日は、たくさんの方にお越しいただき、校内各所にある模擬店や足浴を体験してもらいました。日々の学生生活や学校について知っていただけでは足りないかと感じています。みんなで協力し、楽しい学園祭となりました。



1年生 21期生

戴帽式を終えて 1年生 山本洋子

私は今回2度目の戴帽式を迎えました。1度目の時は、歌も誓いの言葉もありませんでした。

今回は自分たちで決めた歌と自分たちで決めた誓いの言葉を練習しました。最初は中々みんなの気持ちが一つにまとまらずバラバラで、本当に戴帽式が不安でした。しかし、本番が近づくと、授業が始まる前の少しの時間でも、みんなで声を合わせることで、気持ちも声も一つになっていくのを感じました。4月から今までの学校生活の中で、こんなにクラスが一致団結したのは初めてでした。

本番では、今までで一番上手くできて、先輩方や来賓の方、先生方の拍手で涙が出ました。こんな感動する素敵な戴帽式を迎えられたのは、最後まで諦めず熱心に歌のご指導をして下さった織田先生のおかげだと思います。クラスの全員が感謝の気持ちでいっぱいでした。

戴帽式を機に気持ちも引き締め、これからは初心と周囲への感謝の気持ちを忘れず、色々なことに取り組んでいきたいと思います。



8月21日〜22日、徳島県で「DANS」が開催されました。「DANS」の果てまでいってPEACEなんだろっつみんなが思ういまの日本の平和とは「を」をテーマに学生・職員が学び、交流をしました。

参加した学生から学習講演や護国神社FW、特攻隊で出撃された方のお話を聞き、73部隊について学びました。日本では戦争被害の事実は知られていますが加害についてはほとんど知られていないので、とても貴重な学びとなりました。「この感想を聞くことができました。」

学生たちは、実習やテストがある中、学習発表の準備を進め、夏休みも多くの時間を費やしました。仲間の存在が心の支えとなり、チームワークの大切さや同じ目標に向かって努力・協力することの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

事務職員 石原公美子



【DANS…Dear Active Nursing Studentsの略。将来看護師をめざす学生と一緒に学び合い仲間たちと活発に交流し合う企画のこと】



2年生 20期生

2年生担当教員 松本美絵

10月下旬から11月上旬にかけて老年看護学実習Iを行いました。高齢者との関わりから、その方の生きてきた歴史や価値観、生き甲斐に触れ、よりよく生きるための日常生活支援について学習を深めてきました。加齢に伴う身体的変化だけでなく精神面や社会面について学習し、老いについて深く考えることのできる実習でした。また、初めて自分でレクリエーションを企画し、高齢者の方々と楽しい時間を共に過ごすための工夫や運営の難しさを学びました。1月には成人看護学実習I、そして2月からは領域別実習が始まります。学校での講義も残り少なくなりましたが、1日1日を大切に、これから始まる実習に向けて頑張っていきます。

原水爆禁止世界大会in広島に参加して

2年生 森麻那

長崎出身の私は、幼いころから戦争について勉強する機会が多くありました。世界大会に参加しているつもりである事に気が付きました。被爆者のお話を直接聞くことができ、戦後70年たった今なお苦しみを持ち生活をされていることを知り、まだ終わっていない事を感じました。4年前の福島原発事故など日本が負う癒えぬ悲しみや苦しみ、傷を持つなかでも、勇気を出し立ち上がり、声を出して「平和」を願う多くの方々の方にパワーを感じ、「私ができる事」は何だろうと考える契機になりました。「人の力は小さくても、集まれば大きな力となる。」「平和」への願い、そこに国の境界や言葉の違いはありませんでした。



3年生 19期生

3年生担当教員 奈木野佳代・宮原真由美

11月の総合実習で長かった実習が全て終わり、休む間もなく2月の看護師国家試験に向けて勉強がスタートします。長かった実習では、苦しいこと、悲しいこと、悔しかったこと、楽しかったことがあったと思います。しかし、最近ではあの看護師さんのようになりたい！と先輩看護師に将来の自分を重ね合わせたり、こんな看護がしたい！と自分たちの夢を語ることも多くなりました。これから2月の国家試験まで勉強の日々が続きます。時には逃げ出したくなるかもしれませんが、クラス目標でもある「元氣！勇気！本気！国家試験全員合格」を思い出しながら、全員で合格できるよう励まし合いながら頑張っていきたいと思っています。

